

5 中学校編

(1) 各教科の結果・分析の概要

【国語】

- 話し手の立場を理解しながら内容を正しく聞く力、文章における語句の意味を正しく理解しながら読む力、文章に表現されている見方や考え方を正しく理解しながら読む力、漢字を正しく読む力、文の意味を考えて正しい修飾語を使う力などが身に付いている。
- 話し手の説明の工夫を正しく捉えて聞く力、自分の考えを具体例や体験を根拠にして書く力、物語の展開に注意して場面の状況を正しく理解しながら読む力、小学校で学習した漢字を正しく書く力、慣用的な表現を正しく使う力などは、今後一層高めていく必要がある。

【社会】

- 「地理的分野」では、時差や縮尺についての理解、日本の国土の様子などについての理解や考える力、統計資料等からデータを正しく読み取る力などは身に付いている。「歴史的分野」では各時代の様子を考える力や、時代の特色と資料を関連付けて考える力などは身に付いている。
- 「地理的分野」では、地図を活用して考える力や実際に略地図を描く力、課題に対する考えを適切に表現する力などを、「歴史的分野」では、年表の基本的な事項の理解や年表を活用する力、資料から内容を読み取り、適切に表現する力などを、今後一層高めていく必要がある。

【数学】

- 正の数、負の数の減法や乗法、除法などの計算や分配法則を用いた計算などの技能、一次方程式や連立方程式を解く技能、平行線の性質等の図形についての知識や三角形の合同条件を考える力、一次関数の値の変化の様子を捉えたり、グラフに表したりする力が身に付いている。
- 文字式の意味の理解や、問題文の数量の関係を捉える力、関数の表やグラフから式を求める力に課題がある。文字を用いて表現したり、文字式の意味を読み取ったり、 $y = ax + b$ の a や b の意味とグラフの特徴とを関連付けて考える力などを、今後一層高めていく必要がある。

【理科】

- 観測点から雷までの距離を求めることや赤血球の名前や働きなどの基本的な内容はよく理解されている。また、葉緑体の働きとヨウ素液の反応を関連付けて考えるなどの科学的な思考力、器具等の操作の意味を考えながら観察・実験を行う技能についてはおおむね身に付いている。
- 水の電気分解などの化学反応や質量保存の法則について原子や分子のモデルと関連付けて考える力、ヨウ素液やベネジクト液の反応からだ液の働きについて説明するなど複数の実験結果から考察し考えを的確に表現する力については、今後一層高めていく必要がある。

【英語】

- 短い英文やある程度まとまりのある英文が表している具体的な内容を正しく聞き取ったり、読み取ったりする力や、ある程度まとまりのある英文について、大まかな内容を聞き取る力は、おおむね身に付いている。
- 会話の流れから相手の意向を理解し、状況に応じて適切に反応することができる力や、伝えたい内容が読み手に正しく伝わるように適切な表現を用いて書く力、一つの話題について読み手を意識しながら、まとまりのある英文を書く力などは、今後一層高めていく必要がある。